（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州池田町サイクルロゲイニング 2025 及び自転車活用推進事業
事業主体 （連絡先）	一般社団法人池田町観光協会 事務局　0261-62-9197
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業（ア　特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,486,510 円（うち支援金：1,164,000 円）

事 業 内 容

◇サイクルロゲイニングイベントの開催

当町ではＭＴＢが盛んであるが観光消費額等の増進にはオンロードでのコンテンツを取り入れ、観光スポットや景勝地巡りの要素があるロゲイニングを併せて開催できるサイクルロゲイニングを開催しました。アウトドアイベントであることから降水確率の低い１１月の３連休最終日の１１月２日を設定しました。

◇サイクリング来訪者へのケア用品等の設備

幹線道沿い及び立ち寄りスポットへサイクルスタンド及び自転車ケア用品を設備し、サイクリング来訪者を誘導して飲食・購買の機会を創出しました。



【役場前からスタート】

事 業 効 果

□サイクルツーリズムの推進

サイクルツーリズム後進地域である北アルプス南部エリアでもサイクルスタンド等の設置などインフラ整備を行い、来訪者からの評価も得られた。

□当町への来訪の動機付け

サイクルイベントを開催したことで、池田町に興味がなかった町外からの来訪者を招くことができた。

□池田町の魅力発信・話題性

開催周知及び参加申込みにＥモシコムやスポーツエントリーを活用し、普段池田町を認知していない客層に当町の自然環境等の魅力発信することができた。

【目標・ねらい】

① サイクルツーリズムの推進
② 当町への来訪の動機付け
③ 池田町の魅力発信
④ イベント開催による話題性

※自己評価【Ｃ】

【理由】
当イベントの開催については、その有効性を認識することができたが、開催目標であった参加者数 100 名を大きく下回り、実績では 45 名の動員に留まったこと。

今後の取り組み

隣接の大町市と２週連続開催となり、参加者数が低調となった。コストパフォーマンスに主眼を置くとイベント開催の有効性が問われる。開催期日の調整やイベントの統合など検討します。
その上で滞在可能な立ち寄りスポットを増加させ、スポットからの協賛金、イベント統合地域等との負担分散など財源確保及び費用負担の軽減を図り、エリア内事業者等から協賛品などを募り、参加者の満足度向上による参加者の増加も併せてイベントを定着させたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある